

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 川辺町

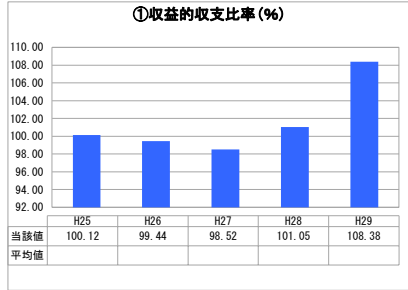
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	2.59	84.91	3,132

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,346	41.16	251.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
267	0.57	468.42

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



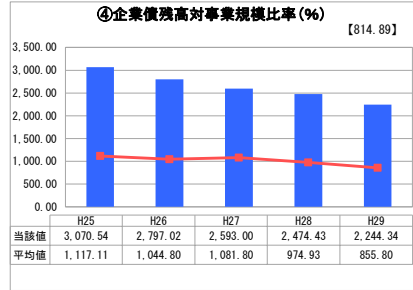
「単年度の収支」



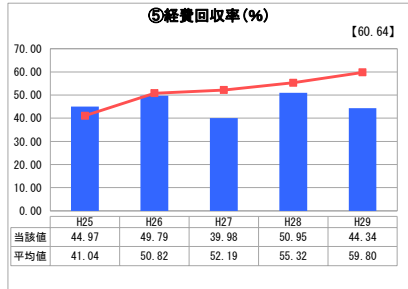
「累積欠損」



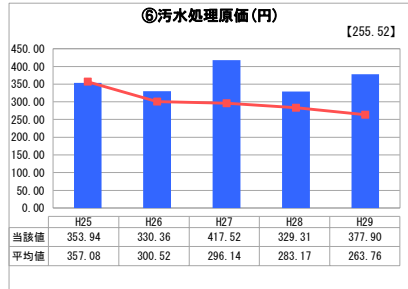
「支払能力」



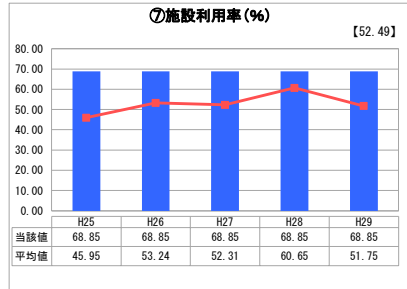
「債務残高」



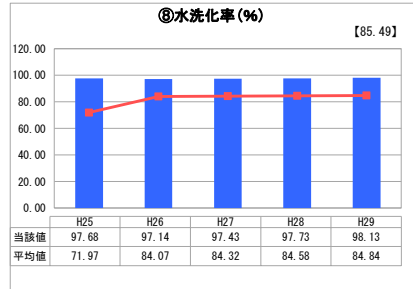
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

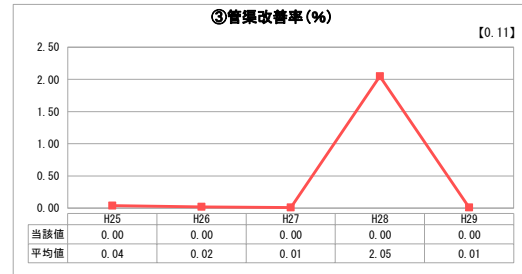
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 平成28年度以降は100%を上回っている。
- 類似団体と比較して高い数値で推移している。企業債の償還年数がまだ半分程度しか経過しておらず残高が約1/2残っていることや、料金収入が毎年の償還額の約1/5程度しかないことが要因である。
- 類似団体と比較して依然低い状態であり、昨年度よりも悪化している。
- 類似団体と比較して高い数値で推移している。
- 類似団体よりも高い数値で推移している。
- 98%と類似団体と比較しても高い数値である。

以上のことから、使用料収入の新たな増加が見込めない現状では、今後も維持管理経費の削減に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

- 類似団体平均を下回っている。

管渠については、耐用年数が経過するまでには期間があるが、農業集落排水事業は流域関連川辺町公共下水道の計画区域に含まれており、将来的には公共下水道に流入する計画である。

全体総括

農業集落排水事業の経営は、使用料収入に限られていることから、一般会計からの繰入によりまかなっている部分がある。将来計画されている公共下水道への接続までは、今後も維持管理費の削減に取り組む必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。